



Race Report

2018 AUTOBACS SUPER GT Rd.5
FUJI GT 500mile RACE
2018.8.4 Sat~8.5 Sun

HOSHINO RACING

90周以上も首位を快走し速さを示す

No.12 カルソニック IMPUL GT-R

佐々木 大樹 / ヤン・マーデンプロー

SUPER GT第5戦、「FUJI GT 500mile RACE」が、静岡県の富士スピードウェイで開催されました。今シーズン最長となる約800kmに及ぶレースで、レース距離700kmを超えボーナスポイントが加算される唯一のレースです。予選、決勝とも真夏の祭典にふさわしい好天に恵まれ、両日合わせて6万人を超える大観衆で賑わいました。



富士スピードウェイ
コース全長：4,563m

8/4(土) 公式予選

天候：☀ コース：ドライ

気温／路面温度：Q1 開始 31℃／ 44℃

Q2 終了 31℃／ 42℃

観客動員数：22,100人

晴天の予選日。公式練習がスタートした8時40分の時点で、すでに気温は28℃。焼け付くような太陽とムシムシとした空気に、真夏日となることが予想されます。その公式練習中、TGRコーナー（1コーナー）にて、No.38 ZENT CERUMO LC500の立川祐路選手がブレーキトラブルからNo.34 Modulo KENWOOD NSX GT3の道上龍選手を巻き込んで大クラッシュ。2台の車両が大破して赤旗中断となりました。セッションが再開した後



も、GT300車両のタイヤがバースト、ホームストレート上に停止したため、再び赤旗中断。このため一時はスケジュールに乱れが生じましたが、公式予選までには調整され、GT500クラスのQ1は予定通り14時55分にスタートしました。

15分間のQ1で、各チームともクリアラップを得るためになかなかコースインしません。残り時間9分となったところで、カルソニック IMPUL GT-Rが先陣を切りました。アタックドライバーはヤン・マーデンプロー。それを見た各車が彼に続きます。タイヤの特性や戦略がそれぞれのチームで異なるなか、マーデンプローも一時はトップタイムをマークするものの、セッションタイムが残り30秒を切った時点で9番手。8位までのQ2圏外でした。しかしチェッカーフラッグ後の最後のアタックラップで1'29.298の6番手タイムをマークし、しっかりとQ2に進出。終わってみればわずか0.372秒の間に上位8台がひしめく混戦でした。

Q2になっても暑さは変わりません。GT500は予定通り15時38分に10分間のセッションがスタートしました。アタックドライバーの佐々木大樹は、No.3 CRAFTSPORTS MOTUL GT-Rの本山哲選手に続き、2番目にコースインします。各車徐々にペースを上げていき、残り2分を切ったあたりでスパートをかけました。佐々木もきっちり仕事をこなし、1'29.068までタイムを伸ばしますが、28秒台には届かず。カルソニック IMPUL GT-Rは最終的に5番グリッドで決勝に臨むこととなりました。予選後、決勝の2セット目のタイヤを検討するため、チームはブリヂストンの技術者と長時間にわたる会議を行ない、長丁場のレースに万全を尽くします。

8/5(日)決勝レース

天候：☀ コース：ドライ

気温/路面温度：32℃/47℃

決勝レース距離 4.563km×177Laps=807.651km

観客動員数：38,300人



決勝日も変わらず晴天。うっすらと雲がかかることもありますが、強い陽射しは変わりません。アスファルトの上にはゆらゆらと陽炎が立ち、猛暑を感じさせます。40,000人近いファンの方々の熱気までこれに加わり、暑さと熱さは増すばかり。ウォームアップ走行直前には、予選日と同じく2017年のレッドブル・エアレースチャンピオンである室屋義秀選手によるエアロバティックのフライトパフォーマンスが行なわれ、大観衆をさらに盛り上げます。

定刻通りの13時30分、白バイとパトカーの先導によるパレードランからスタート進行が始まりました。パレードを終え、フォーメーションラップ1周を経た13時36分52秒、800km先のゴールへ向けてレースがスタート！カルソニック IMPUL GT-Rのスタートドライバーは佐々木大樹。5番手スタートからジャンプアップを狙いましたが、好スタートを決めたNo.19 WedsSport ADVAN LC500(山下健太選手)とNo.1 KeePer TOM'S LC500(ニック・キャンディ選手)に抜かれ、7位へ落ちてしまいます。青い12号車を応援して下さるファンの方々の落胆する声が聞こえてくるようでした。しかし、ここからオーバーテイクショーが始まります。

10周目、No.3 GT-R(千代勝正選手)のコースアウトによって難なく6番手に浮上した佐々木は、11周目に入ったばかりの1コーナーの飛び込みでNo.19 LC500にアウトからかぶせて5番手に。17周目にNo.1 LC500に追いつくと、20周目の1コーナーでパスして4番手に上がりました。そして26周目、最終コーナーでNo.24 フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R(高星明誠選手)のインを差して3番手！そのまま33周まで走行し、ヤン・マーデンボローにバトンタッチ。まだピットに入らずトップを走るNo.36 au TOM'S LC500(関口雄飛選手)の直後でコースに戻ります。

36周目、No.36 au TOM'S LC500がピット作業で手間取っているあいだにマーデンボローがパス！事実上前を走るのはNo.23 MOTUL AUTECH GT-R(松田次生選手)のみとなりました。そして前日の予選後会議によるタイヤ戦略がピタリとはまり、ブリヂストンタイヤがさらなる威力を発揮します。40周目にはNo.23 GT-Rとの差を1秒台にまで詰めると、41周目にはテールtoノーズの激しいバトルが始まりました。GT300をさばきながらなので、なかなか前には出られません。しかし55周目、その時は訪れます。1コーナーでアウトから並びかけるとそのままコカ・コーラコーナーまでイン側を守り、ついにトップに立ちました！





そこからもコンスタントにハイペースで走行し、70周目にピット作業と佐々木へのドライバー交代を終え、レースの折り返しとなる89周目には2位のNo.23 GT-Rとの差を8.709秒にまで広げます。107周目、3度目のピット作業を終えて交代したマーデンボローが走行する115周目には2位のNo.23 GT-Rに対して25.667秒もの大差を付けて独走態勢となっていました。その後のレース展開でセーフティカーが出るようなアクシデントもなく、25秒～28秒の差を保ったまま、142周を終えてピットイン。ピット作業とドライバー交代をつつがなく終え、無事にコースへ復帰します。

すべての戦略がうまくはまり、2位とのあいだに大きなギャップを築き上げ、優勝へ向けて盤石だと誰もが思っていた149周目。突如としてペースが落ちてしまいました。勝利を確信していたマーデンボローはピットウォールでうなだれます。GT300クラスの車両にも抜かれるほどパワーを失い、150周目に緊急ピットインを余儀なくされました。ピットロードから直接ガレージへと入ったため、誰もがそのままりタイヤだと思ったのではないのでしょうか。しかし、頼りになるメカニック達には原因の予想がついていました。吸気系のトラブルです。エンジンはすぐさま力を取り戻し、カルソニック IMPUL GT-Rはレースに復帰します。2周遅れの14位となってしまいましたが、チェッカーフラッグを受けるまで走り切るのがレースです。前を走る2台のNSXがストップしたこともあり、最終的には12位でのフィニッシュとなりました。

優勝を目前にしながらの12位で終えるという結果は、筆舌に尽くしがたいほど残念です。しかし、90周以上にもわたってトップを快走できた事実は、次戦に向けて大きな自信となりました。2人のドライバーたちも「レースの半分以上をリードし、あとワンスティント普通に走ることができれば優勝できたレースでした。これでチャンピオンシップは厳しくなりましたが、次こそ勝てるように頑張ります（マーテンボロー）」「大きなギャップを築いてトップを落ち着いて走ることができていましたが、トラブルで突然パワーを失ってしまいました。チャンピオンシップに向けて、次はもう勝つしかありません。集中して残りのレースに臨みます（佐々木）」と前向きです。次戦はテクニカルなスポーツランドSUGOでの300kmレース。悔しさをバネに必勝を期して臨みます。皆様からのたくさんのご声援が力になりました。ありがとうございます。

TEAM IMPUL NEXT Race Information

- 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦8/18(土)～19(日) ツインリンクもてぎ
- SUPER GT 第6戦 9/15(土)～16(日) スポーツランドSUGO

www.impul.co.jp



@IMPUL_official



IMPUL.official





2018 年 協賛会社様



ドライバーからのコメント



佐々木 大樹
Daiki Sasaki

チームIMPUL、星野監督に優勝をプレゼントできませんでした。
カルソニックチームインパルのファンの皆さんにも…
90周以上トップを走っていても勝てないのがレース、、
気持ちをきりかえて、次のSUGOに全てをぶつけます!!
暑い中、たくさんの応援ありがとうございました!!



ヤン・マーデンボロー
Jann Mardenborough

優勝は手の届くところにありましたが、
とても残念なレースでした
しかし、速さは十分にあります。
SUGOこそ一番高いところに立ちます。



8/4(土) 公式予選

天候：☀ コース：ドライ

気温／路面温度：Q1 開始 31℃／ 44℃

Q2 終了 31℃／ 42℃

観客動員数：22,100 人



Qualifying							2018.8.4
Po	No	Machine	Driver	Q1	Q2	Tire	WH
1	23	MOTUL AUTECH GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	松田 次生 ロニー・クインタレッリ	1'29.006	1'28.461	MI	62
2	24	フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	J.P.デ・オリベイラ 高星 明誠	1'29.221	1'28.493	YH	14
3	36	au TOM'S LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	中嶋 一貴 関口 雄飛	1'29.132	1'28.749	BS	30
4	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	本山 哲 千代 勝正	1'29.076	1'28.872	MI	18
5	12	カルソニック IMPUL GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	佐々木 大樹 ヤン・マーデンボロー	1'29.298	1'29.068	BS	36
6	19	WedsSport ADVAN LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	国本 雄資 山下 健太	1'29.152	1'29.222	YH	26
7	1	KeePer TOM'S LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	平川 亮 ニック・キャシディ	1'29.378	1'29.430	BS	58
8	8	ARTA NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	野尻 智紀 伊沢 拓也	1'29.355	1'29.563	BS	48
9	100	RAYBRIG NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	山本 尚貴 ジェンソン・バトン	1'29.464		BS	64
10	64	Epson Modulo NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	ベルトラン・バゲット 松浦 孝亮	1'29.482		DL	6
11	39	DENSO KOBELCO SARD LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	ヘイキ・コバイネン 小林 可夢偉	1'29.670		BS	70
12	16	MOTUL MUGEN NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	武藤 英紀 中嶋 大祐	1'29.683		YH	16
13	6	WAKO'S 4CR LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	大嶋 和也 F.ローゼンクヴィスト	1'30.033		BS	58
	17	KEIHIN NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	塚越 広大 小暮 卓史			BS	50
	38	ZENT CERUMO LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	立川 祐路 石浦 宏明			BS	52

・タイヤ=BS：ブリヂストン／DL：ダンロップ／MI：ミシュラン／YH：ヨコハマ

・WH=ウェイトハンディキャップ(kg)



8/5(日)決勝レース

天候：☀ コース：ドライ

気温/路面温度：32℃/47℃

決勝レース距離 4.563km×177Laps=807.651km

観客動員数：38,300人



■ Race (177Laps)								2018.8.5
Po	No	Machine	Driver	Laps	Best Lap	Diff.(km/h)	Tire	WH
1	36	au TOM'S LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	中嶋 一貴 関口 雄飛	177	1'31.185	4:40'08.601	BS	30
2	1	KeePer TOM'S LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	平川 亮 ニック・キャシディ	177	1'31.427	1.564	BS	58
3	17	KEIHIN NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	塚越 広大 小暮 卓史	177	1'31.695	21.184	BS	50
4	8	ARTA NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	野尻 智紀 伊沢 拓也	177	1'31.675	26.906	BS	48
5	100	RAYBRIG NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	山本 尚貴 ジェンソン・バトン	177	1'31.366	32.197	BS	64
6	24	フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	J.P.デ・オリベイラ 高星 明誠	177	1'30.987	52.449	YH	14
7	6	WAKO'S 4CR LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	大嶋 和也 F.ローゼンクヴィスト	177	1'31.309	56.084	BS	58
8	38	ZENT CERUMO LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	立川 祐路 石浦 宏明	177	1'31.162	1'22.587	BS	52
9	23	MOTUL AUTECH GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	松田 次生 ロニー・クインタレッリ	177	1'30.899	1'23.911	MI	62
10	19	WedsSport ADVAN LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	国本 雄資 山下 健太	176	1'31.485	1 Lap	YH	26
11	39	DENSO KOBELCO SARD LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	ヘイキ・コバライネン 小林 可夢偉	176	1'32.053	1 Lap	BS	70
12	12	カルソニック IMPUL GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	佐々木 大樹 ヤン・マーデンボロー	175	1'31.310	2 Laps	BS	36
13	64	Epson Modulo NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	ベルトラン・パグエット 松浦 孝亮	166	1'31.165	11 Laps	DL	6
14	16	MOTUL MUGEN NSX-GT Honda NSX-GT / HR-417E	武藤 英紀 中嶋 大祐	162	1'31.275	15 Laps	YH	16
15	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	本山 哲 千代 勝正	139	1'31.693	38 Laps	MI	18

・タイヤ=BS：ブリヂストン/DL：ダンロップ/MI：ミシュラン/YH：ヨコハマ

・WH=ウェイトハンディキャップ(kg)



RANKING

■ Driver ranking

Po	No	Driver	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind	WH
1	1	平川 亮 ニック・キャッシュディ	11	4	11	3	18				47	-	94
2	36	関口 雄飛		8	6	1	25				40	-7	80
3	100	山本 尚貴 ジェンソン・バトン	15	2	15		8				40	-7	80
4	17	塚越 広大 小暮 卓史	21			4	13				38	-9	76
5	39	ヘイキ・コバライネン		15		20					35	-12	70
6	23	松田 次生 ロニー・クインタレッリ	6	20	5		4				35	-12	70
7	8	野尻 智紀 伊沢 拓也		3	21		10				34	-13	68
8	6	大嶋 和也 フェリックス・ローゼンクヴィスト	8	6		15	5				34	-13	68
9	36	中嶋 一貴			6	1	25				32	-15	80
10	38	立川 祐路 石浦 宏明	3	12	3	8	4				30	-17	60
11	39	小林 可夢偉				20					20	-27	70
12	12	佐々木 大樹 ヤン・マーデンボロー		5	8	5					18	-29	36
13	39	坪井 翔		15							15	-32	70
14	19	国本 雄資 山下 健太	2			11	2				15	-32	30
15	24	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ 高星 明誠	5		2		6				13	-34	26
16	3	本山 哲 千代 勝正	4	1	4						9	-38	18
17	36	ジェームス・ロシター		8							8	-39	80
18	16	武藤 英紀 中嶋 大祐	1			7					8	-39	16
19	64	ベルトラン・バゲット 松浦 孝亮			1	2					3	-44	6

■ Team ranking

Po	No	Team	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind	WH
1	1	LEXUS TEAM KeePer TOM'S	14	7	14	6	21				62	-	94
2	36	LEXUS TEAM au TOM'S	3	11	9	3	28				54	-8	80
3	100	TEAM KUNIMITSU	18	5	18	2	11				54	-8	80
4	17	KEIHIN REAL RACING	23	1	3	7	16				50	-12	76
5	6	LEXUS TEAM LEMANS WAKO'S	11	9	3	18	8				49	-13	68
6	23	NISMO	9	23	8	2	6				48	-14	70
7	39	LEXUS TEAM SARD	3	18		23	2				46	-16	70
8	8	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	3	6	23		13				45	-17	68
9	38	LEXUS TEAM ZENT CERUMO	6	14	6	11	7				44	-18	60
10	12	TEAM IMPUL	3	8	11	8	1				31	-31	36
11	19	LEXUS TEAM WedsSport BANDO	5	1	3	14	4				27	-35	30
12	24	KONDO RACING	8	1	5		9				23	-39	26
13	3	NDDP RACING with B-MAX	7	3	7	2	1				20	-42	18
14	16	TEAM MUGEN	4	1		9	1				15	-47	16
15	64	Epson Nakajima Racing	2		4	5	1				12	-50	6

